

吹田市議会 会派

(議会質問は抜粋して掲載しています)

立憲民主党

(旧民主・立憲フォーラム)

議会報告 令和 7 年 新年号

吹田市議会議員

にしおか 友和

吹田市議会 会派 民主・立憲フォーラムの『にしおか友和』です。新年、おめでとうございます。吹田市議会は、11月定例議事を閉会しました。今議会では、教員の長時間労働是正に関する意見書の提出、また持続可能な学校運営を目指し、教員の長時間労働を是正するための更なる取り組みを求める意見書が採択されました。学校体育館など、避難所の空調設備整備促進に関する意見書の提出、指定避難所における空調設備の整備を促進することを求める意見書が提出されました。



政治

・外郭団体のガバナンスについて

教育

・小中学校に保護者との連絡用に携帯電話の配備を求める

教育

・教員の働き方改革について

西岡

外郭団体のガバナンスについてお尋ねをいたします。吹田市文化振興事業団、吹田市国際交流協会、吹田市健康づくり推進事業団、千里リサイクルプラザ、吹田市介護老人保健施設事業団、吹田市開発ビル株式会社、吹田市社会福祉協議会、吹田市シルバー人材センター、これらの団体名、名前からいたしましても、私の地域で皆様と携わる中で、感じることとしまして、これらの団体は、全て吹田市が直接もしくは間接的に運営をしている、そのように吹田市民の皆様は思われていると私は認識をしております。外形的にそのような認識をされているということについて、市の見解を伺います。

市

外郭団体に対する市の関与の前提として、大きく2点あるものと存じます。

1点目は、外部の団体であり、人事管理等の内部マネジメント面も含め、その自主性を尊重すべきであること。2点目は、市が設立に関わり、様々な公益的事業を任せていることを踏まえ、公正で透明性の高い運営や、健全な経営を求めるべきであること。こうした前提の下、外郭団体の在り方に関する指針を策定し、活動状況について評価を行い、必要な助言、指導等を行っているところでございます。

一般市民の御認識といたしましては、関心が薄く、特段の認識を持たれていない方々も含め様々であろうとは思われますが、お示しのように、市が団体を運営しているのであろうと捉えておられる方も一定おられるのではないかと存じます。

今後とも、指針や活動状況評価結果などの公表を通じて、市の関与についての市民理解が深まるよう努めてまいりたいと考えております。

9月議会の一般質問におきまして、吹田市社会福祉協議会において発生したハラスメント事案につき、どのような事象が発生したのか。再発防止に努めるため、市として把握する必要があると指摘をさせていただきました。

福祉部長からは、再度、処分に至るまでの具体的な事実関係が分かる報告書を求めるとの御答弁を頂きました。その報告は受けられたのでしょうか、御説明ください。

市

吹田市社会福祉協議会職員の処分事案につきましては、本市といたしましても事実の確認が必要と判断し、当協議会に報告を求め、本年11月22日付で報告書が出されたものでございます。

その内容は、本事案に関し、聞き取り調査を行った人数や、全職員を対象に行ったアンケート調査の結果でございます。

ハラスメントの内容につきましては、秘匿性が高く、その情報を提供することにより、相談窓口体制の維持に著しい支障を及ぼすとのことで報告をいただかなかったものでございます。

西岡

5W1Hというのは新入社員でも皆さん御存じだと思いますし、特に官僚の皆さんにとっても徹底的に、報告を上げるときには叩き込まれたことだろうと思っております。何の報告も受けていない、それを受け取ったんですよね。何ハラかも分からない、期間も分からない、行われた場所も分からない。それは報告と言えるのでしょうか、御答弁をお願いします。

市 提出された報告書につきましては、聞き取りやアンケート調査に協力した職員への配慮が必要という点においては、一定の理解ができるものですが、事実関係が分かる報告書としては十分ではないと考えております。

そのため、ハラスメントの内容別に受けた件数や見聞きした件数について、まとめた報告書を再度、提出するよう求めているところでございます。

西岡 聞き取り調査なんですけども、社協は十数人の職場ですよ。これは、総務課長が職員にされたということですけども、当事者じゃないですか。十数人の職場で総務課長が、もう、みんな当事者じゃないですか。何の意味があるのか、私には納得できませんし、今まさにハラスメントの問題、第三者性が非常に大事であると、お隣の自治体でもそれは連日やってるじゃないですか。これは調査と言えるんでしょうか。客観的な観点から、実施されたというものでは、一切ないので、全くこれは意味のないことだと私は思ってるんですね。

この報告を受けて、当然、これは市として受けられたわけですから、春藤副市長、どのように御認識されていらっしゃるんですか、御答弁お願いします。

市 外郭団体は独立した法人ですので、法人内の人事管理の問題については、吹田市社会福祉協議会が法令に基づき適切に対応すべき問題であると考えております。

しかしながら、本市としても、事実の確認は必要であることから、担当部長から答弁させていただきましたように、再度、処分理由も含めた事実関係が分かる調査報告書を求めているところでございます。

西岡 近年、教員の長時間勤務が報道等でクローズアップされております。教員という仕事は将来の人材を育てる人間形成に重要な、最もやりがいのある魅力あふれる職業の一つです。昨今の報道の在り方に対しては私も行き過ぎだと思いますが、教育現場が抱える課題であることは事実です。

吹田市においても、教員の働き方改革について、さきの総合教育会議でも、教員のウェルビーイングの向上について積極的に議論がなされているところです。令和8年度中に、月当たり時間外在校等時間、以下「時間外」と呼称します、80時間超えの教員をゼロに、45時間超えの教員を令和5年度の507名から半減、さらに令和11年度中に時間外が30時間以上の教員をゼロにするという、大変意欲的な目標値を掲げています。これが実現できれば、吹田市の教育現場に対する評価は一変することでしょう。時間外においては、服務管理上の問題があり、その責任は管理者のみにあって、一般の教員にはないと私は考えていますが、見解を求めます。

市 教職員の在校等時間の管理につきましては、校長が管理監督をする責任者であることから、所属教職員の在校等時間を適正に把握し、業務分担の見直しを行うなど、教職員が働きやすい職場づくりに努める必要があると認識しております。

西岡 先ほど述べた目標値を達成するために、管理者としてはどうしても時間外を削減していかなければなりませんので、その課せられた目標値に沿うよう帰宅を命じることでしょう。そこに課題があると思っています。

つまり、時間外を削減することは、教員の正味の労働時間を削減することであって、持ち帰って仕事をする、また土、日に出勤履歴を残すことなく出勤をして仕事をするというようなことがあっては、元も子もない。こういったこともなくさなければなりません。その兼ね合いをいかにして担保していくのか。ただ単に時間外を削減していく、それでは強要するというような事象が生じかねません。これは、現場で働く多くの先生方からも相当な、大変不安であるというような声を多く頂いております。担当の御所見を願います。

市 本年度中に策定予定の教員の働き方改革グランドデザイン案では、教員が多様な児童・生徒一人一人に応じた、よりよい教育を提供できる状況をつくることを目指しており、そのためには教員が心身ともに充実した状態で児童、生徒と向き合うことが大切であると認識しております。

教員が心身ともに充実した状態で働くためには、現在よりも勤務時間を削減することが必要であり、そのために勤務時間内で本来業務に注力でき、仕事を持ち帰る必要がないよう、こういった課題があるかなど、現場の声を聞き、寄り添いながら、引き続き働き方改革の取組を進めてまいります。

西岡 現場の声を聞き、寄り添いながらというところが非常に大切になってきます。まさしくこういうときにこそ言い方はよくないかもしれませんが、しかし、あえて誤解を恐れずに申し上げるならば、こういうときこそ労働組合、教職員組合が非常に役に立つんじゃないですか。こういうときこそ、現場で働く先生方の声を一つに集める、集約をしてもらってるってことになりやすいですね、こういうときには。

しっかりと労働組合のほうと話をして、現場の先生方の声をしっかり聞いていただく。そして、みんなで同じ目標に向かって、変なあつれきであったりとか、変なわだかまりが残らないように、正味の時間外労働の削減ということをしっかり取り組んでもらえるようお願いを申し上げます。

市 いわゆる過労死ラインに達するといった長時間勤務は、教員の健康を損ね、そして児童、生徒へのよりよい教育を提供できなくなることにつながります。勤務時間内でよりよい教育を児童、生徒に提供できるように、そしてその中で、教員に対してのやりがいを感じられるよう努めてまいります。

にしおか友和 1974年 吹田生まれの吹田育ち。千里山団地に生まれ、佐井寺・五月が丘育ち、藤白台に在住 3児の父親
千里第二小学校～佐井寺小学校～佐井寺中学校～箕面自由学園高等学校 関西大学 法学部 大阪府立大学 大学院 博士前期課程 修了
株式会社ドコモCS関西（NTTグループ）に20年間 勤務 ICTシステムコンサルタント
藤白台小学校PTA会長（2018年・2019年・2023年・2024年） 元青山台地区地域教育業議会 副会長
元藤白台地区青少年対策委員会 委員長
吹田市議会：予算委員長 立憲民主党大阪府連合 副幹事長
整理収納アドバイザー準1級
大学（大学院）は働きながら奨学金を利用して全額自費にて卒業。その経験から学費の無償化や無利子奨学金制度の導入を求める活動を通じて政治家を志す。3児の子育て真っ最中、吹田市の教育に熱い思いをもって、市政に取り組んでいます。